

(4) 南 関 東



南関東地域では、景気は持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きに一服感がみられる。
- ・ 個人消費は緩やかに増加している。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

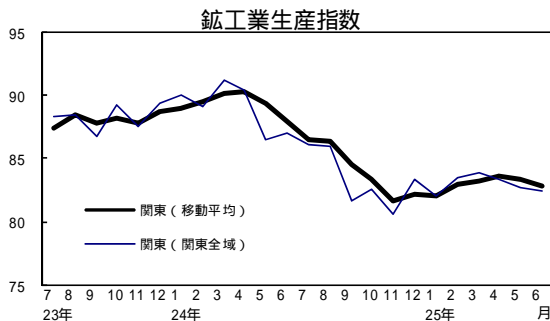
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 25 年 5 月)	今回 (平成 25 年 8 月)	
景況判断	緩やかに持ち直し	持ち直し	
鉱工業生産	持ち直しの動き	持ち直しの動きに一服感	
個人消費	持ち直し	緩やかに増加	
住宅建設	増加	大幅に増加	
雇用情勢	改善の動き	改善	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しの動きに一服感がみられる。(関東全域)

4～6月期には、輸送機械は、生産車種変更により、小型乗用車が生産増となり増加した。一般機械は、それぞれ輸出向けに蒸気タービン、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、プレス用金型が生産増となり増加した。電気機械は、国内電力会社向けの開閉制御装置と輸出向けの半導体・IC測定器、アルカリ蓄電池が生産減となり減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1～3 月期	4～6 月期	4月	5月	6月
輸送機械	15.2	4.8	0.3	4.7	5.1	3.3
化学	13.4	0.3	-	0.5	1.4	-
一般機械	13.2	2.8	4.3	2.3	8.1	1.1
電気機械	7.8	7.0	3.1	5.6	2.9	4.9
食品・たばこ	7.1	2.7	-	5.1	0.1	-
鉱工業	100.0	1.2	0.5	0.6	0.8	0.4

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

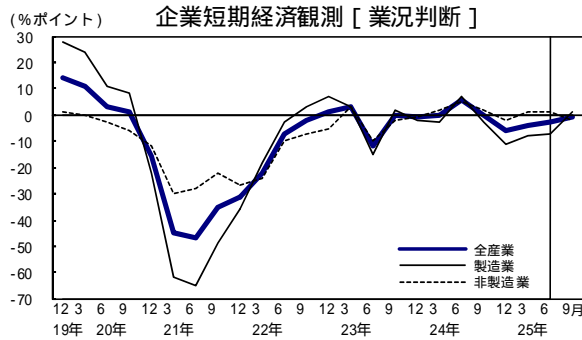
2. 4～6月期、6月は速報値。化学、食品・たばこは、速報値では公表されていない。

(備考) 1. 17年=100、季節調整値。最新月は速報値。

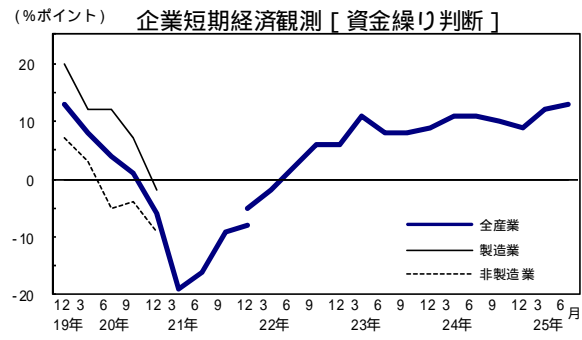
2. 太線は後方3か月移動平均。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が拡大している。

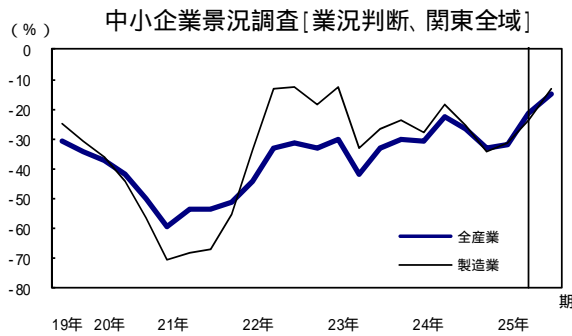
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。25年9月は予測。
21年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行横浜支店管内。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
21年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行横浜支店管内。

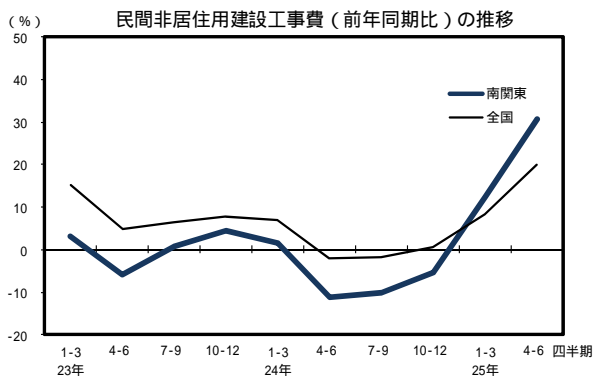


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。25年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(7月)[企業動向関連(現状)]

「株価の上昇で一時的にもうかった部分は消費にまわったのかもしれないが、精密切削、プレス、板金、組立て等の機械加工の会社では、4月以降一段と売上が減少し、夏の賞与の支給を見送ったところもある(経営コンサルタント)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は大幅に増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資(6月調査)]

	(前年度比、%)	
	24年度実績	25年度計画
全産業	9.0(2.2)	7.9(1.3)
製造業	10.4(0.0)	3.6(2.9)
非製造業	6.1(7.3)	17.2(10.3)

(備考)()は前回(3月)調査比修正率。
調査対象は神奈川県。

(4) 南関東

2. 需要の動向

(1) 個人消費は緩やかに増加している。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4月は前月比0.4%増、5月は同0.4%増、6月は同0.5%増となった。

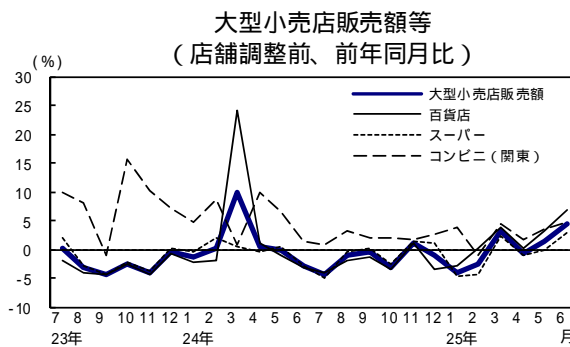
大型小売店販売額

百貨店は、4月は、呉服、高級寝具、高級食器、高級ワイン等の高額商品が好調であったこと等から前年を上回った。5月は、母の日商戦が好調であったことと、サングラス、帽子、日傘等のUV対策商材が好調であったことにより前年を上回った。6月は、好天に恵まれ、父の日商戦が好調であったことと、衣料品がきわめて活況であったこと等から前年を上回った。スーパーは、6月初旬以降に高気温であったことにより飲食料品、化粧品などに動きがみられたこと等から前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (7月) [家計動向関連 (現状)]

南関東地域の家計動向関連DIは、51.4となり前月より2.2ポイント低下した。

「例年7、8月は売上が落ちるのだが、今年は約20%とかなり落ち込んでいる (一般レストラン)」など、「悪くなっている」とする回答が増加した。

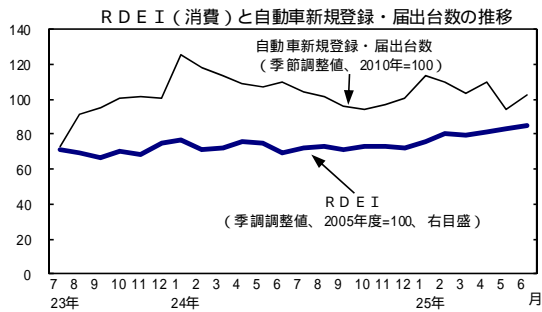


	25年4-6月	25年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	1.1	0.4	0.4	0.5
大型小売店(*2)	1.8	0.6	1.3	4.6
百貨店(*2)	3.5	0.1	3.3	7.0
スーパー(*2)	0.5	1.1	0.1	2.8
コンビニ(*2)	3.4	1.8	3.5	4.9
乗用車(*3)	5.5	0.8	6.9	8.5
(季節調整値)(*3)	6.1	6.2	13.6	8.2

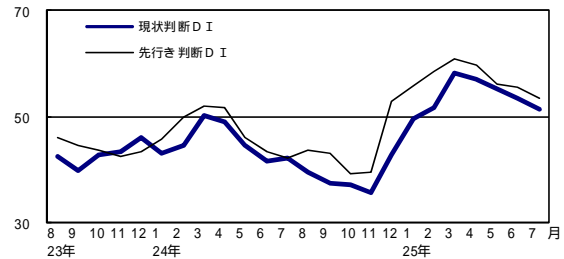
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)、コンビニは関東全域

3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比(%))



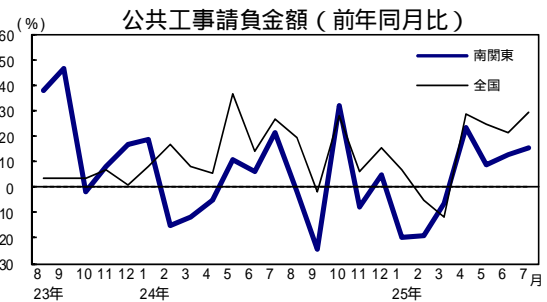
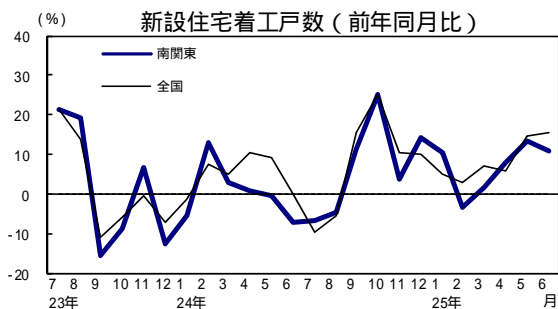
景気ウォッチャー調査 (家計動向関連)



(2) 住宅建設は大幅に増加している。

貸家、持家、分譲が前年を上回ったことから、大幅に増加している。

(3) 公共投資は25年度累計で見ると前年度を上回っている。

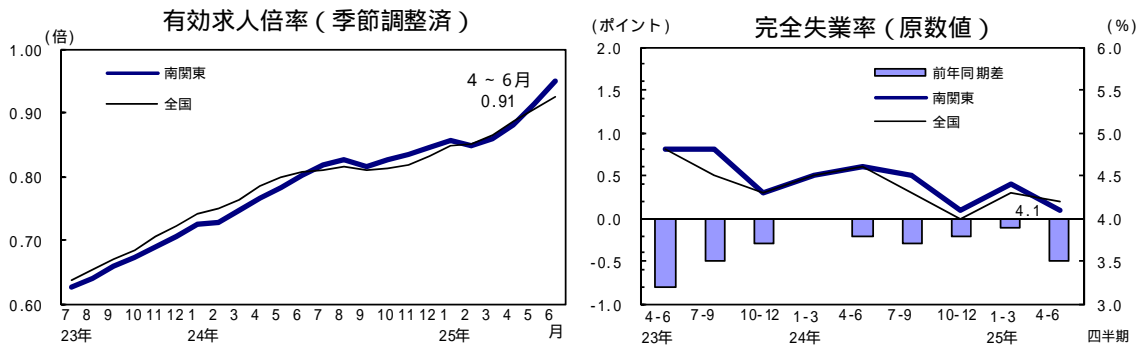


3. 雇用情勢等

(1) 雇用増勢は改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (7月) [雇用関連 (現状)]

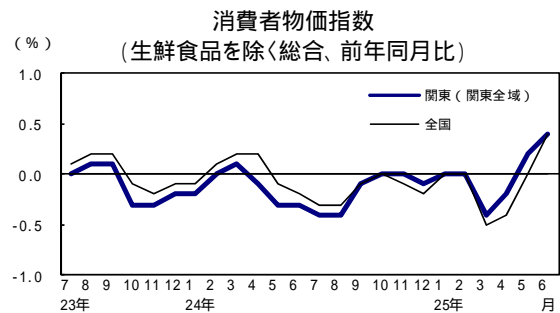
「慎重ではあるが、従来より広い領域での人材の紹介が可能になってきている。特に海外での管理経験者は面接以降まで進むケースが多い(民間職業紹介機関)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数は減少しているものの、負債総額は増加している。

(3) 消費者物価指数は上昇に転じている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	24年7-9月	10-12月	25年1-3月	4-6月	25年7月
倒産件数	947	929	933	931	370
(前年比)	7.4	9.5	14.8	12.8	11.8
負債総額	3,716	2,630	2,042	3,414	1,073
(前年比)	1.3	21.5	78.3	48.9	55.2



景気ウォッチャー調査 (7月) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

- 法人取引においては、OSが新しくなるということで、法人関係の特需がある。また、その他の投資関係ではスチール家具や複合機、コピー機等の物件、案件についても、このところよくきている(一般小売店[文具])

<先行き>

- 今は夏休みに入り、徐々に客は増えているが、3か月後は秋の観光シーズンが始まる。観光地にとってはトップシーズンになるので、客が増えることを期待している(観光名所)

